

令和5年度 第4回下松市地域公共交通活性化協議会

議事要旨

○日時：令和6年3月13日（水）10：00～11：15

○場所：ほしらんどくだまつ2階 サルビアホールAB

○出席委員：19名（欠席4名）

真鍋委員、河合委員、渡瀬委員、木村委員、河村憲委員、清水委員、田中委員、岩本委員、相本委員、古田委員、瀬来委員、舘委員、弘中委員、棟近委員、中村委員、田川委員、目山委員、安野委員、金織委員

○事務局：企画政策課

○オブザーバー：株式会社バイタルリード

1 開会

2 議事

(1) 下松市地域公共交通活性化協議会の口座開設について

- ・資料1を基に市から説明。
- ・法律の改正に伴い、経過措置期間が終了する令和7年事業年度（令和6年10月～令和7年9月）の支払いがある令和8年3月ごろまでに、国庫補助の入金を受けるための協議会の口座の開設が必要となる。
- ・市では米泉号がフィーダー補助を受けており、来年度は口座開設に向けて財務規定の制定や活性化協議会の規定の変更など準備を進めていきたい。
- ・委員の中から監査委員の就任などご協力をお願いしたい。

発言者	発言要旨
会長	米泉号の国庫補助が市に直接入ってきているが、法律の改正により活性化協議会の口座の開設する必要がある、その準備を進めるための事前報告である。ご質問やご意見はないか。 ないようなので、次の議題に進める。

(2) 今年度の事業について

評価指標について

- ・評価指標1. 公共交通の年間利用者数は、基準値が190万8,454人で、目標の205万に対し、205万348人と目標値を超える結果となった。米泉号はやや減少したものの、JR各駅の乗車人員、2社の路線バスの利用者がいずれも増加しており、全体としては利用が増加した。
- ・評価指標3. 路線バスの収支率は、基準年が48.5%に対し、現状維持を目標としているが、今回は52.6%と約2%改善した。
- ・評価指標5. 幹線バスの運行便数は、基準は185便で、現状維持を目標としているが、4便減って181便となった。

- ・評価指標 6. 交通結節点としての機能の整備件数は、基準は0件で、目標を3件としているが、今年度は整備はなかった。
- ・評価指標 9. 待合環境の整備件数は、基準は0件で、目標を5件としているが、今年度は整備はなかった。
- ・評価指標 10. ICカード利用率（路線バス）は、基準は2.3%で目標を60%としている。基準年である令和3年度は、中国ジェイアールバスでのみICカードが導入されていたが、令和5年3月から防長交通でもICカードが利用できるようになり、今年度の数値が41.8%と大幅に向上した。
- ・評価指標 11. 乗り方教室・出前講座の開催回数は、基準は0回で目標を5回としているが、今年度は利用促進策として実施した米泉号無料乗車WEEK、くだまつ商工まつりへの防長バス出展の計2回となった。
- ・評価指標 13. 関係者と協働により実施した事業件数は、基準は0回で目標を5回としている。市と防長交通が協働で実施した、くだまつ商工まつりへの防長バス出展の1回となった。
- ・評価指標 14. 運転士充足率は、基準値は86.9%で、100%の目標に対し今回は91.6%と約5%改善した。

#### 笠戸島デマンドタクシーについて

- ・1月15日～3月15日を実証期間としており、あと数日残っている状況。
- ・総利用者は昨日まででのべ78名、実人数は17名で、リピーターが多い。今後分析を行うが、今までタクシーに乗っていた人がデマンドタクシーに移行していると考えている。
- ・利用が多いのは1便（8：30笠戸島発～）24人と4便（11：40タウンセンターキラル発）13人で、一方で利用がない便もある。
- ・下松駅南口、くだまつタウンセンターキラルでの乗降が多い。
- ・利用者アンケートをみると、下松駅ではJRに乗継ぎ徳山方面に行ったり、駅近くの個人医院への通院に使われたりしている。市役所や病院に行った人がゆめタウンに寄って帰るケースや、路線バスへの乗継も見られる。
- ・利用目的は通院が半分以上で、通院と買い物で95%以上を占めている。
- ・アンケートで挙げられている改善点として、下松駅南口ののりばが駅まで遠い、行先にホームセンター入れてほしい、当日朝でも予約できるようにしてほしいなどがある。

#### くだまつ商工まつりへの防長交通バス出展について

- ・会場に路線バスを1台搬入し、スロープを出して乗降しやすい状態で展示した。
- ・運転士の帽子を置いて写真コーナーを設置したり、周南市下松市公共交通マップを配布したりした。
- ・開始時から夕方まで、ひっきりなしに多くの方に見に来ていただいた。

発言者	発言要旨
会長	質問、意見はないか。

委員	米川の交流拠点の整備見直しの新聞記事を見た。米川地区の新しい地域交流施設はどこに位置するのか。将来的には米泉号との連携も必要かと思う。
事務局	今ある菅沢バス停、米川小学校の北側に予定されている。設計はこれからだが、米泉号が入れるよう配慮しながら整備する予定である。
会長	くだまつ商工まつりでご協力いただいた防長交通からどうか。
委員	久しぶりの開催ということで、商工まつりでは多くの方にバスを見ていただきよかった。いろんな自治体でこういったイベントをされているが、できる範囲で協力させていただければと考えている。 今年度は、国の補助を活用しG T F Sデータの整備を進めている。現在、グーグルマップで検索できるようグーグルへの申請を行っており、その審査を受けている段階である。また、当社のWebサイトでは、ナビタイムのシステムを使った、バス停名や施設名で検索できるサービスが近日中に公開予定である。ぜひご活用いただければと思う。
会長	新たなサービスが始まるということである。 他にはないか。ないようなので、次の議事に進める。

### (3) 次年度の実施事業について

事務局から地域公共交通計画書の事業を基に来年度の主要な事業について説明した。

- ・事業③支線の維持と見直し：下松市内の交通網について、利便性が高く持続可能なサービスを検討する。次年度の会議の中で議事として挙げる可能性もあるのでご審議をお願いしたい。
- ・事業④実情に応じた多様な輸送資源の活用：交通空白地の移動手段の確保として、笠戸島におけるデマンドタクシーの実験や、今後実施する住民アンケートを踏まえて笠戸島地区の交通網について検討する。
- ・事業⑤待合環境の整備や車両等のバリアフリー化：待合環境の整備を進めたいと考えている。利用者からの要望として屋根やベンチの設置があるが、道路の許可が必要などハードルは高い。そこで、例えばバス停近くの施設と連携した待合環境の整備などを検討したい。また、民間企業との連携でベンチを設置できないかと、商工会議所等と連携した取組を模索していきたい。
- ・事業⑧モビリティ・マネジメントの推進：今年度参加したくだまつ商工まつりでもバスに興味を持っていただけることが分かったので、今後は乗り方教室を実施したい。また、玉鶴で開催している高齢者対象のスマホ相談会やスマホ教室において、スマホを使ったバスの情報の検索方法やバスサイトの使い方などを知っていただき、利用のハードルを下げられるように取り組んでいきたい。

発言者	発言要旨
会長	来年度の代表的な事業予定を紹介した。 ご意見、質問はないか。
委員	商工会議所との連携での成果が出たと聞いている。センターホールの活性

	化を図った。そこでも定期的な情報発信をしたいと考えている。館内には携帯電話のショップや文化教室もあるので、スマホを使った勉強会もできるのではないかと。私たちに投げかけていただければ、タウンセンター全体としても協力していきたい。
事務局	スマホ教室などについてタウンセンターと協働していきたいと模索しているので大変ありがたいご意見である。お声がけさせていただく。
委員	<p>取組というのは、アイデアはあっても実行は難しい。高専では、障害者福祉の観点から、障害者の支援技術の研究をしているグループがあり、高専、周南公立大学、久米地区の社協、周南総合支援学校でスマホ教室を開催している。このような取組をインクルーシブカフェというが、これを下松でもできないか。</p> <p>自分の同級生で、出身地ではなく就職先の地で高齢者にパソコンを教えるボランティアをしている人がいる。その人の話を聞いていると、他所から来て下松で働いている人もこういった取組ができるのではないかと思った。山口大工学部は県出身者が2割、工業高校を卒業して地元就職するのでも2割しかいない。つまり他の地域の工業高校を卒業した人たちが下松で働いている。この人たちはスマホの使い方を教えることはできるが、では、どうつながりを作ればいいのか。</p> <p>下松市がここまで人口を維持できた最大の理由は、産業があることと、周辺と比べて住宅も含め選ばれる街であったからだと思う。人口が減り始めたらじり貧になるので、こういう人たちを巻き込む工夫をするという。そのために必要なのはお金か、仕組みか、制度か、企業の協働か。例えばパソコンボランティアは機材や場所の問題があるが、若者と地域との交流が生まれるインクルーシブカフェとして仕込むのも手かと思う。</p> <p>学生を巻き込むのは簡単ではないが、下松市役所は高専から1番近い市役所だし、下松市出身の学生も1.5割程度に増えているので、連携も視野に入れてほしい。</p>
会長	デジタル、福祉、産学連携・官民連携など広い話があった。参考にしたい。
事務局	幅広い情報をいただいた。計画の基本方針でも「オール下松」を謳っている。色々な立場で参加していただいているので協力、アイデアをいただき連携を図れるようお願いしたい。
会長	<p>福祉サイドから意見はよろしいか。下松市としてできるかどうか、お知恵をお借りしながら検討する。</p> <p>他にご意見はないか。予算無しにできるものもあるので、1つでも充実するように考えていきたい。</p> <p>ご意見がないようなので、次の議題に進む。</p>

### 3. その他

発言者	発言要旨
会長	その他について事務局からあるか。

事務局	2月下旬に協議会の任期についてご案内しているので、継続または異動等による変更について回答をお願いしたい。
事務局	事務局の説明に対する質問、意見はないか。 ないようなので、会議全体を通じてご意見等はないか。
委員	周防営業所は3月31日の運行を以って終了し、下松～光の系統も撤退する。住民の方にはご迷惑をおかけすることになり申し訳ない。これまでの運行に際し、住民、委員、市役所の皆様に多大なるご協力をいただき、お礼申し上げます。
会長	市民の移動手段として非常にご協力いただいた。この場をお借りして拍手でお礼申し上げたい。 他にご意見等はないか。 以上で第4回下松市地域公共交通活性化協議会を終了する。

— 委員名簿 —

	所属	役職	氏名
1	下松市	企画財政部長	真鍋 俊幸
2	防長交通株式会社	営業部長	河合 貴志
3	中国ジェイアールバス株式会社	運輸部生活交通活性化 推進室 室長	渡瀬 千博
4	西日本旅客鉄道株式会社 中国統括本部 広島支社 地域交通（山口）	課長	木村 善栄
5	メトロ交通株式会社	取締役	河村 英輝
6	周南近鉄タクシー株式会社	総務部長	河村 憲朗
7	一般社団法人 山口県タクシー協会	理事	清水 延隆
8	下松市自治会連合会	会長	田中 豊
9	シニアクラブ下松	副会長	岩本 昇
10	社会福祉法人下松市社会福祉協議会	常務理事	相本 美重子
11	下松市小・中学校 PTA 連合会母親委員会	代表	井上 佳織
12	下松市連合婦人会	会長	古田 尊子
13	下松市	健康福祉部長	瀬来 輝夫
14	中国運輸局山口運輸支局	首席運輸企画専門官	舘 昭憲
15	私鉄中国地方労働組合防長交通支部周南 分会	分会長	弘中 賢男
16	中国地方整備局山口河川国道事務所	交通対策課長	三浦 道人
17	山口県周南土木建築事務所	企画調査室主幹	棟近 宏之
18	下松市	建設部長	中村 竜之
19	下松警察署	交通課長	田川 勇
20	徳山工業高等専門学校	土木建築工学科准教授	目山 直樹
21	山口県観光スポーツ文化部	交通政策課長	渡邊 昭博
22	下松商工会議所	専務理事	安野 政行
23	下松商業開発株式会社	代表取締役	金織 平浩